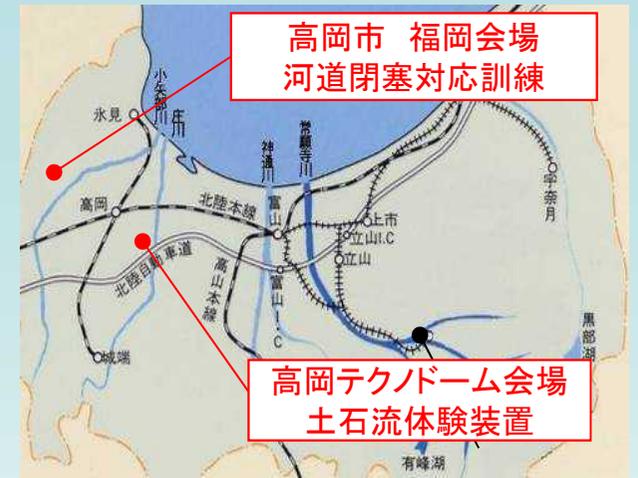


富山県総合防災訓練に参加



大規模災害想定した実践的かつ広域的な災害応急活動等の防災訓練を実施し、防災計画等の円滑な運用、防災思想の普及啓発を図るため、平成25年8月25日(日)に富山県及び高岡市、射水市を主催とする富山県総合防災訓練が8会場に分かれて開催。参加機関は富山河川国道事務所、国土地理院北陸地方測量部、立山砂防事務所、警察、消防、自衛隊、D-MAT、地域住民(自主防災組織含む)など総勢4,600名が参加。

立山砂防事務所では、呉羽山断層帯を震源とするマグニチュード7.4の地震により、小矢部川水系子撫川(こなでがわ)で大規模な河道閉塞が発生したことを想定し、土砂災害防止法に基づき富山県と高岡市と合同で情報伝達訓練を実施。



■ 地震により発生した大規模土砂災害による河道閉塞対応訓練

◆ 予備調査及び緊急調査



「ほくりく号」による上空調査の画像を住民の方に説明

◆ 対策本部の設置、状況・対策説明

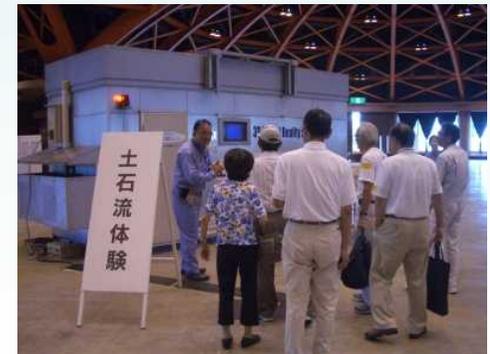


三上事務所長より、富山県土木部長(本部長代理)に対し、天然ダム及び浸水被害想定状況、今後の対策について説明



災害対策本部車及び衛星通信車を設置状況。

■ 土石流体験装置



土石流体験装置を176名が体験

第6会場(高岡市福岡町五位地区)において河道閉塞対応を実施